

## センターからのお知らせ

### AIDS 文化フォーラム in 横浜に参加しました

「第29回 AIDS 文化フォーラム in 横浜」が8月5日(金)~7日(日)に開催されました。「文化〜くりかえされるもの うまれるもの〜」というテーマのもと、全国から3,096名もの人が、かながわ県民センターの会場やオンライン会場に集いました。

当センターでは8月6日(土)に「知ろう・話そう・性のモヤモヤ セイシルが取り組む活動」と題したオンライン学習会を開催しました。149名の参加者はセイシルを担当している TENGA ヘルスケア教育事業部の講師お二人から、セイシルが出版した書籍や性教育の出前講座について学ぶことができました。「性教育を学んだことのない大人も知ってほしい」「行動制限がDV(ドメスティック・バイオレンス)にあたることを知った」といった感想がありました。

※セイシルは10代の若者が抱える性(からだ、こころ、生理、射精、マスターベーションなど)の悩みやネットトラブルなどについて答える Web メディアです。 QRコードはこちら→



当センターで貸し出し中

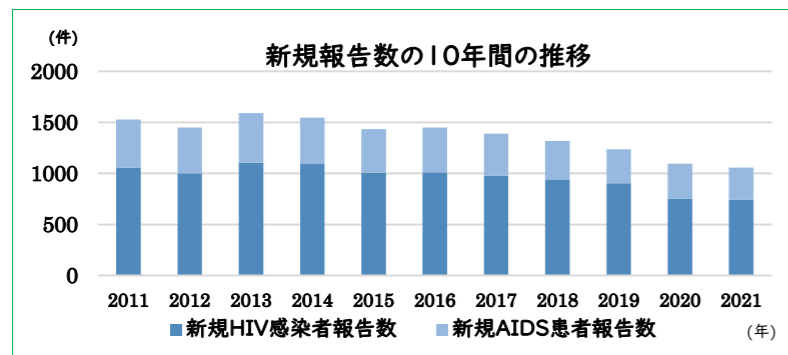


### 2021年 HIV 感染者・AIDS 患者の年間新規報告数

厚生労働省エイズ動向委員会が2021年エイズ発生動向(確定値)を8月に発表しました。新規 HIV 感染者報告数は742件、新規 AIDS 患者報告数は315件で、ともに合わせた新規報告数は1,057件でした。

新規 HIV 感染者の感染経路は性的接触によるものが全体の84%、年齢別では20~40歳代が多く、新規 AIDS 患者の感染経路は性的接触によるものが全体の68%、年齢別では30~50歳代が多かったです。

新型コロナウイルス感染症の流行の影響により、保健所等での検査控えが予想されますが、HIV 感染が心配な方は積極的に保健所等での無料・匿名検査を受けることが大切です。



※横浜市では HIV 検査と梅毒検査が同時に受けられます。梅毒は早期に治療をすれば治る病気ですが、最初は痛みや痒みなどの症状がなく、気が付かないことがあります。検査を受けましょう。

横浜市 HIV・梅毒検査についてはこちら→



### 休館のお知らせ

冬期休館:2022年12月28日(水)~2023年1月4日(火)

HIV・エイズ、性感染症の正しい知識・最新情報をわかりやすく解説!



URL <https://yaaic.gr.jp/>

発行:横浜 AIDS 市民活動センター  
公益財団法人横浜YMCAが横浜市から事業を受託しています。  
〒231-0015 横浜市中区尾上町3丁目39番地 尾上町ビル9F /TEL:045-650-5421 FAX: 045-650-5422 /E-mail: info@yaaic.gr.jp  
平日:13:00~20:00 /土・祝:10:00~17:00  
休館:日/火  
監修:横浜市健康福祉局健康安全課

## 特集 HIV・エイズのこと どのくらい知っている?

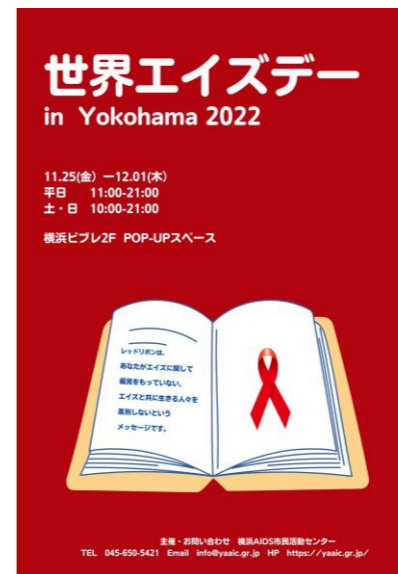
### 世界エイズデー in Yokohama 2022 開催

横浜 AIDS 市民活動センターは、12月1日の世界エイズデーに合わせて、「世界エイズデー in Yokohama 2022」を行います。エイズについて知っている人も初めて知った人も、身近な問題として関心を持ってもらえるよう、期間中は HIV・エイズに関するポスターの展示や性感染症のパンフレット等の配架を行います。

日程:2022年11月25日(金)~12月1日(木)  
平日 11:00~21:00  
土日 10:00~21:00  
会場:横浜ビブレ2階 POP-UPスペース



センターマスコット コムちゃん



主催:横浜 AIDS 市民活動センター

〈アクセス〉

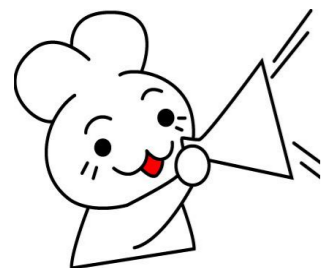


横浜駅西口より徒歩5分

## 特集 HIV・エイズのこと どのくらい知っている？

○か×を選んでね！

HIV・エイズ ○×クイズ		○・×
1	HIVとエイズは同じ意味である。	
2	HIVに感染すると、2～3日でエイズになる。	
3	HIVの感染経路は、性的接触が最も多い。	
4	特定の決まった相手との性的接触であればHIVに感染することはない。	
5	他の性感染症に感染しているとHIVに感染しやすくなる。	
6	HIV感染予防に有効なコンドームには、正しい使い方がある。	
7	低用量ピルはHIV感染予防に有効である。	
8	HIV・エイズは薬で抑えられる病気である。	
9	HIVは早期発見・早期治療・治療継続が重要である。	
10	献血会場でHIV検査も行っている。	
11	HIV・エイズについて不安な時は、相談できるところがある。	
12	保健所でHIV検査を受けるときは無料である。	
13	2021年、世界で新たにHIVに感染した人は50万人いる。	
14	SDGsの目標の中には、エイズについて取り上げているものがある。	



**HIV・エイズのことを正しく知って  
偏見や差別のない社会にしよう！**

答えは右のページで解説します！

もっと詳しく知りたい方はAPI-Net(エイズ予防情報ネット)をご覧ください。→ <https://api-net.jfap.or.jp/>

☆ HIV・エイズ○×クイズを学校授業や啓発活動などの際にご自由にお使いください。☆

☆ 知ることは予防につながります ☆  
このクイズをきっかけにHIV・エイズへの理解を深めていきましょう

### HIV・エイズ○×クイズの解答と解説

1	×	HIVとは「ヒト免疫不全ウイルス」というウイルスの名前です。HIVに感染した後、免疫力が落ちることさまざまな病気を発症します。この病気の状態をエイズ(AIDS)「後天性免疫不全症候群」といいます。
2	×	HIVに感染してもすぐにエイズになるわけではありません。エイズを発症するまで、自覚症状がない状態が5年～10年程あります。(個人差があります)
3	○	2021年国内で報告された新規HIV感染者の感染経路は8割が性的接触です。
4	×	特定の相手であっても過去のことはわかりません。過去に一度でも性的接触をしたことがあれば、HIV検査を受けておくことが大切です。
5	○	性感染症に感染すると性器の粘膜が傷つくことがあり、そこからHIVに感染しやすくなります。
6	○	コンドームを正しく使うことがHIVや性感染症の予防に有効です。コンドームには使用期限があり、保管方法、装着方法を守らないと破れたり、外れたりします。正しい使い方は横浜AIDS市民活動センターのHP「コンドームつけ方・持ち歩き方」で確認できます。
7	×	低用量ピル(経口避妊薬)は妊娠をしにくい効果と、生理痛改善効果や生理周期調整効果により日常生活リズムを立てやすくする薬です。HIVや性感染症の予防薬ではありません。
8	○	治療薬の進歩と内服の継続により、HIVが血液中に見つからないくらい抑えることができます。HIVの減った状態が6カ月以上続くようになると、性行為によって他の人に感染させることはなくなります。これをU=Uといいます。 (Undetectable<検出限界値未満>=Untransmittable<HIV感染しない>の略)
9	○	早期に感染を知り、治療をはじめ、治療を継続することでエイズの発症を防ぎ、感染前と変わらない生活を送れるようになります。
10	×	献血会場でHIV検査は行っていません。
11	○	保健所ではHIV・エイズに関する相談を受け付けています。また、「認定NPO法人AIDSネットワーク横浜」では夜間・休日エイズ電話相談(水曜18:00～21:00(祝日は休み)、土曜15:00～18:00(祝日は15:00～17:00) TEL045-201-8808)を行っています。 地域別電話相談リストはこちら→ <a href="https://api-net.jfap.or.jp/inspection/tel_list.html">https://api-net.jfap.or.jp/inspection/tel_list.html</a>
12	○	保健所が行うHIV検査は無料で、匿名です。「HIV検査・相談マップ」で、全国の検査会場を検索できます。「HIV検査・相談マップ」→ <a href="https://www.hivkensa.com/">https://www.hivkensa.com/</a>
13	×	2021年、世界で新たにHIVに感染した人は150万人います。
14	○	SDGs目標3「すべての人に健康と福祉を」の中で「2030年までに、エイズ、結核、マラリア及び顧みられない熱帯病といった伝染病を根絶する」として取り上げています。感染症には国境がないと言われています。感染症への対策は国際的な協力が必要な世界共通の課題です。

自分のからだは心は自分のもの！  
普段から、自分のからだの状態を知っておくことも大切です。

